Ⅳ　教育活動状況

1. 大学院

(1) 学生数（定員含む）

獣医学研究科　　平成 28 年 5 月 1 日現在

	DC1	DC2	DC3	DC4	合計
定員	24	24	24	24	−
学生数計	32	16	32	22	102
女性（内数）	13	7	17	8	45
外国人留学生（内数）	12	11	16	10	49

獣医学研究科　　平成 29 年 5 月 1 日現在

	DC1	DC2	DC3	DC4	合計
定員	−	24	24	24	−
学生数計	10	28	16	33	87
女性（内数）	6	11	7	18	42
外国人留学生（内数）	6	12	11	17	46

獣医学院　　平成 29 年 5 月 1 日現在

	DC1	DC2	DC3	DC4	合計
定員	16	−	−	−	−
学生数計	12	−	−	−	12
女性（内数）	6	−	−	−	6
外国人留学生（内数）	4	−	−	−	4

国際感染症学院　　平成 29 年 5 月 1 日現在

	DC1	DC2	DC3	DC4	合計
定員	12	−	−	−	−
学生数計	11	−	−	−	11
女性（内数）	4	−	−	−	4
外国人留学生（内数）	4	−	−	−	4

(2) 入学者数（社会人学生・留学生受け入れ状況含む）

①入学定員

選抜方法	定員		
	平成 28 年度	平成 29 年度	
	獣医学研究科	獣医学院	感染症学院
社会人入試	若干名	若干名	若干名
外国人特別選抜	上限 4 名	若干名	若干名
自学部外（日本人）特別選抜	上限 4 名	若干名	若干名
私費外国人留学生入試		若干名	若干名
国費外国人留学生の優先配置を伴う特別プログラム	5 名	5 名	
入学定員総数	24 名	16 名	12 名

②入学者数等

		平成 28 年度	平成 29 年度	
		獣医学研究科	獣医学院	感染症学院
応募学生数		40	19	13
	うち留学生数	20	9	5
	うち自大学出身者数	11	5	2
	うち他大学出身者数	29	14	11
	うち社会人学生数①（企業等を退職した者）	4	3	0
	うち社会人学生数②（現職者で社会人入試を受験した者）	1	0	0
入学者数		30	13	11
	うち留学生数	11	4	4
	うち自大学出身者数	10	5	2
	うち他大学出身者数	20	8	9
	うち社会人学生数①（企業等を退職した者）	4	3	0
	うち社会人学生数②（現職者で社会人入試を受験した者）	1	0	0

(3) 研究生・科目等履修生・特別聴講学生等受入状況

区分	人数＊	
	平成 28 年度	平成 29 年度
研究生	13	16
科目等履修生	0	0
特別研究学生	0	3
特別聴講学生	0	0

＊その年度（4 月～翌年 3 月）に在籍した学生の実数

(4) 各種支援採用者数（LP 各種事業，TA，TF，RA）

制　度	人数	
	平成 28 年度	平成 29 年度
博士課程教育リーディングプログラム奨励金制度	45	41
博士課程教育リーディングプログラム科学研究費制度	41	29
博士課程教育リーディングプログラム海外派遣支援制度*	53	23
博士課程教育リーディングプログラムインターンシップ支援制度	20	23
ティーチング・アシスタント（TA）**	124	64
ティーチング・フェロー（TF）**	–	–
リサーチアシスタント（RA）**	19	10
国費外国人留学生の優先配置を伴う特別プログラム	5	5

＊国際学会での成果発表，海外のフィールドでの疫学活動（「海外疫学演習」），海外機関との共同研究（「海外共同研究演習」）等における支援者数を示す

＊＊（　）内は博士課程教育リーディングプログラム等による採用者数を示す。

(5) 入学料・授業料免除適用者数

	区分	大学院	時期	申請者数	全額免除	半額免除	1/4 免除	不許可
入学料免除	平成 28 年度	獣医学研究科	前期	4	0	1		3
			後期	1	0	1		0
	平成 29 年度	獣医学院	前期	6	0	6		0
			後期	0	0	0		0
		国際感染症学院	前期	3	0	3		0
			後期	0	0	0		0
授業料免除	平成 28 年度	獣医学研究科	前期	42	18	20	2	2
			後期	44	12	29	2	1
	平成 29 年度	獣医学研究科	前期	32	14	16	1	1
			後期	33	12	19	1	1
		獣医学院	前期	6	6	0	0	0
			後期	6	6	0	0	0
		国際感染症学院	前期	4	4	0	0	0
			後期	5	3	2	0	0

(6) 就職説明会・キャリアパスセミナー

①就職説明会

「2. 学部（14）就職説明会実施状況」を参照

②キャリアパスセミナー

実施日	実施者（所属）
平成 28 年 5 月 26 日	伊林富男（前ベーリンガーインゲルハイムベトメディカジャパン）
平成 28 年 6 月 21 日	平　知子，渡邊成男（JICA　農業・農村開発第一グループ）
平成 28 年 12 月 8 日	久米田裕子（大阪府公衆衛生研究所）
平成 29 年 2 月 8 日	鑪迫典久（国立環境研　環境リスク研究推進室）
平成 29 年 2 月 13 日	東良俊孝（厚生労働省　食品安全部監視安全課）
平成 29 年 5 月 29 日	小林　潤（琉球大学医学部）
平成 29 年 8 月 22 日	片山浩之（東京大学工学部）
平成 29 年 10 月 13 日	伊林富男（前ベーリンガーインゲルハイムベトメディカジャパン）

(7) 博士課程修了者数

①学位取得者数

修了状況	人数，％	
	平成 28 年度	平成 29 年度
学位取得者総数（A） （単位取得退学者を含む）	16	24
在学期間短縮修了者（B） （3～4 年未満）	1	3
標準修業年限修了者（C） （4 年）	14	18
在学期間超過者 （4 年を超過）	1	2
単位取得退学者 （退学後 1 年以内取得）	1	2
標準修業年限内修了率 （（B＋C）/A）	93.8％	87.5％

②博士課程教育リーディングプログラム修了者数

リーディングプログラムの名称	修了年度	
	平成 28 年度	平成 29 年度
One Health に貢献する獣医科学グローバルリーダー育成プログラム	6	
One Health に貢献する獣医科学グローバルリーダー育成プログラム　人獣共通感染症対策専門家養成コース	7	
One Health に貢献する獣医科学グローバルリーダー育成プログラム　ケミカルハザード対策専門家養成コース	2	2
合計	1	2

(8) 修了者の進路状況

平成 28 年度修了者（単位修得退学者 5 名を含む）

就職先	人数	具体的な進路
地方／国家公務員	3	Vietnam Department of Animal Health Epidemiology Division Veterinary officer，愛媛県，鹿児島県
博士研究員・研究員	10	量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所，Philippine Carabao Center National Headquarters and Gene Pool，独立行政法人大阪健康安全基盤研究所，NIH ロッキーマウンテン研究所，South Dakota State Univ in the Department of Chemistry and Biochemistry，北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター（博士研究員）(3)，北海道大学獣医学研究科（客員研究員），北海道大学研究員（学術研究員）
大学教員	3	School of Veterinary Medicine，Mongolian University of life sciences，Faculty of Veterinary Medicine Alexandria University Egypt，酪農学園大学
民間企業・団体等	1	旭化成
大動物・小動物臨床	2	㈲クウ動物病院，もりやま犬と猫の病院
その他	1	帰国
合計	20	

平成 29 年度修了者（単位修得退学者名を含む）

就職先	人数	具体的な進路
地方／国家公務員	3	警視庁科学警察研究所，栃木県，京都府
博士研究員・研究員	11	国立研究開発法人農業研究機構・動物衛生研究部門，北海道大学大学院獣医学研究院（博士研究員，学振特別研究員），Department of Biochemistry and Molecular Biology，UTMB Health，Reseach Fellow，人獣共通感染症リサーチセンター（学術研究員，学振特別研究員，博士研究員，客員研究員），北海道大学リーディング大学院担当（学術研究員），国立感染研究所　感染病理部第四室　任期付研究員
大学教員	6	Banguradesh Agricultual UniversityFuculty of Veterinary Science，faculty of Veterinary Medicine & Animal Science University of Peradeniya，University of Zambia School of Veterinary Medicine，kasetsert University Faculty of Veterinary Medicine，Mongolian University of Life Science
民間企業・団体等	4	ノバルティスファーマ株式会社，一般社団法人ジェネティクス北海道，独立行政法人　大阪健康基盤研究所，独立行政法人　医薬品医療機器総合機構
大動物・小動物臨床	1	JAMINE どうぶつ循環器病センター
その他	2	就職活動中，セントベビークリニック（産婦人科）
合計	27	

(9) 学位論文一覧

①課程博士

平成 28 年度，平成 29 年度

学位授与日	氏名	学位論文題目	審査委員
H28. 6.30	尾之内佐和	Analysis of the mechanism in gut morphological formation - Spatiotemporal control during mouse duodenojejunal flexure formation - （腸管の形態形成機序の解析―マウス十二指腸空腸曲形成にみられる時空間的制御―）	主査　教　授　昆　　泰寛 副査　教　授　滝口　満喜 副査　准教授　市居　　修 副査　講　師　坂本健太郎
H28. 9.26	キム　ギヨン	A study on the population genetics of influenza A viruses （A 型インフルエンザウイルスの集団遺伝学に関する研究）	主査　教　授　伊藤　公人 副査　教　授　高田　礼人 副査　准教授　磯田　典和 副査　助　教　大森　亮介 副査　准教授　小柳香奈子 （情報科学研究科）
	デルゲルモロン　ドーカラ	5-HT release from chemoreceptor cells in the chicken thoracic aorta （ニワトリ胸部大動脈の化学受容器細胞からの 5-HT 放出機構に関する研究）	主査　准教授　乙黒　兼一 副査　教　授　昆　　泰寛 副査　特任教授　葉原　芳昭 副査　名誉教授　伊藤　茂男
	ネスタ　ボルティサム	Environmental contamination in Ghana: Environmental fate and risk assessment of heavy metals and polycyclic aromatic hydrocarbons （ガーナにおける環境汚染：金属と多環芳香族炭化水素の環境動態とリスクアセスメント）	主査　教　授　石塚真由美 副査　教　授　坪田　敏男 副査　准教授　池中　良徳 副査　准教授　野見山　桂 （愛媛大学）
	マービン　アルデッツア　ビラヌエバ	Epidemiological investigation of pathogenic *Leptospira* spp. harbored by water buffalo (*Bubalis bubalis*) in the Philippines （フィリピンの水牛（*Bubalis bubalis*）が保有する病原性レプトスピラの疫学的研究）	主査　教　授　鈴木　定彦 副査　教　授　東　　秀明 副査　准教授　磯田　典和 副査　准教授　中島　千絵
	モハメド　ソビヒ　ハッサン　エルフキー	Novel suppressive action of adiponectin on LPS- and HMGB1-induced inflammatory responses （脂肪細胞分泌因子アディポネクチンの細菌内毒素 LPS および核内タンパク質 HMGB1 に因る炎症に対する新規抑制作用）	主査　教　授　木村　和弘 副査　教　授　大橋　和彦 副査　准教授　今内　　覚 副査　講　師　岡松　優子

学位授与日	氏名	学位論文題目	審査委員
H29. 3.23	イナス　ハメド マハモド エルハテブ	The role of mouse 2', 5'-oligoadenylate synthetase 1 paralogs （マウス 2',5'- オリゴアデニル酸合成酵素 1 パラログの役割）	主査　教　授　安居院高志 副査　教　授　大橋　和彦 副査　教　授　迫田　義博 副査　准教授　森松　正美
	氏家　絢子	RIN14B 細胞の細胞内 Ca2＋動態に対する硫化水素の作用に関する研究	主査　准教授　乙黒　兼一 副査　特任教授　葉原　芳昭 副査　教　授　木村　和弘 副査　名誉教授　伊藤　茂男
	カーンバン チョブ ニパウィット	A study on the avian-to-swine transmission of influenza A viruses （A 型インフルエンザウイルスの鳥豚間伝播に関する研究）	主査　教　授　伊藤　公人 副査　教　授　髙田　礼人 副査　准教授　山岸　潤也 副査　准教授　小柳香奈子 （情報科学研究科）
	小林　武志	アドレナリン α2A 受容体サブタイプに対する α2 作動薬の作用に関する研究	主査　准教授　乙黒　兼一 副査　教　授　木村　和弘 副査　教　授　石塚真由美 副査　名誉教授　伊藤　茂男
	単　　智夫	Studies on therapeutics of prion diseases - Establishment of novel screening method for anti-prion compounds and cell therapy model - （プリオン病の治療法に関する研究　―抗プリオン薬新規スクリーニング法と細胞治療モデルの確立―）	主査　教　授　堀内　基広 副査　教　授　澤　　洋文 副査　准教授　小林　篤史 副査　教　授　堂浦　克美 （東北大学）
	鈴木　基史	細胞周期チェックポイントの阻害が制がん剤および放射線の殺細胞効果に与える影響の解析	主査　教　授　稲波　　修 副査　教　授　滝口　満喜 副査　准教授　森松　正美 副査　准教授　山盛　　徹
	フイ　ズゥ チュ	Studies on the control of avian influenza virus infections in poultry and humans （家禽とヒトにおける鳥インフルエンザウイルス感染の制御に関する研究）	主査　教　授　迫田　義博 副査　教　授　髙田　礼人 副査　准教授　磯田　典和 副査　ユニバーシティ　プロフェッサー　喜田　　宏
	深野　圭伍	褐色脂肪細胞の新規増殖機構とその組織形成における役割	主査　教　授　木村　和弘 副査　教　授　稲波　　修 副査　特任教授　葉原　芳昭 副査　講　師　岡松　優子
	古山　若呼	Studies on the function of ebolavirus glycoprotein-specific antibodies （エボラウイルス表面糖蛋白質に対する抗体の機能に関する研究）	主査　教　授　髙田　礼人 副査　教　授　澤　　洋文 副査　教　授　東　　秀明 副査　准教授　好井健太朗
	山口　智之	Studies on DNA gyrase of quinolone-resistant *Mycobacterium leprae* （キノロン耐性らい菌の DNA ジャイレースに関する研究）	主査　教　授　鈴木　定彦 副査　教　授　東　　秀明 副査　准教授　磯田　典和 副査　准教授　中島　千絵
H29. 6.30	横山　　望	A study on the colorectal mucosal immunopathology of inflammatory colorectal polyps in dogs ― analyses of innate immunity and epithelial barrier （炎症性結直腸ポリープの犬における結直腸粘膜の免疫病態に関する研究―自然免疫と上皮バリアの解析）	主査　教　授　滝口　満喜 副査　教　授　大橋　和彦 副査　講　師　大田　　寛 副査　代表取締役　賀川由美子（有限会社ノースベッツ）

学位授与日	氏名	学位論文題目	審査委員
H29. 9.25	シリン アクター	Studies on molecular detection of Leishmania infection in stray dogs from Bangladesh （バングラデシュ人民共和国の野犬におけるリーシュマニア感染に関する研究）	主査　教　授　澤　　洋文 副査　教　授　高田　礼人 副査　特任准教授　磯田　典和 副査　講　師　大場　靖子
	パウリナ ドゥヒータ アニンディタ	Development and Implementation of a Compound Screening Assay to Identify Antivirals against Rabies Virus （狂犬病ウイルスに対する抑制作用を有する化合物のスクリーニングアッセイ法の開発と化合物の探索）	主査　教　授　澤　　洋文 副査　教　授　高田　礼人 副査　特任准教授　磯田　典和 副査　講　師　大場　靖子
	ヨゲンドラ サハ	Genetic diversity of multidrug resistant Mycobacterium tuberculosis Central Asian Strain isolates in Nepal （ネパールで分離された多剤耐性中央アジア型結核菌株の遺伝的多様性）	主査　教　授　鈴木　定彦 副査　教　授　東　　秀明 副査　特任准教授　磯田　典和 副査　准教授　中島　千絵
	ジーワン タパ	Genetic characterization of Mycobacterium orygis isolates from animals of South Asia （南アジアの動物から分離された Mycobacterium orygis の遺伝的特徴）	主査　教　授　鈴木　定彦 副査　教　授　東　　秀明 副査　特任准教授　磯田　典和 副査　准教授　中島　千絵
	オチルクー ニャムスレン	Epidemiological and immunological study for intractable infectious diseases in livestock （家畜の難治性感染症の疫学的および免疫学的研究）	主査　教　授　大橋　和彦 副査　特任教授　片倉　　賢 副査　准教授　中島　千絵 副査　助　教　村田　史郎
	ユウジン チセラ ブワリヤ	Disease Modifying Osteoarthritic Drug, Pentosan Polysulfate Sodium Modulates Cytokine-Induced Osteoarthritic Changes and Promotes Articular Cartilage Tissue Regeneration in vitro （変形性関節症病態修飾薬である多硫酸ペントサンは，関節軟骨におけるサイトカイン誘導性関節症病態を変化させ，培養関節軟骨の再生を刺激する）	主査　教　授　奥村　正裕 副査　教　授　大橋　和彦 副査　准教授　細谷　謙次 副査　講　師　長谷部理絵
	西森　朝美	Research for the development of novel control methods for bovine leukemia virus infection （牛白血病ウイルス感染症に対する新規制御法開発のための研究）	主査　教　授　大橋　和彦 副査　教　授　鈴木　定彦 副査　准教授　今内　　覚 副査　講　師　長谷部理絵
	ヤン ユンホア	The effects of theca cell-derived bone morphogenetic protein-4 on in vitro growth, fertilization and subsequent development of bovine oocytes （内卵胞膜細胞由来骨形成タンパク質 4 が牛卵子の体外発育，受精および胚発生に与える影響）	主査　教　授　片桐　成二 副査　教　授　昆　　泰寛 副査　教　授　坪田　敏男 副査　准教授　永野　昌志
H29.12.25	前川　直也	Studies on immune checkpoint molecules in canine cancers and development of a novel immunotherapy targeting these molecules （イヌ腫瘍における免疫チェックポイント分子の解析とそれらを標的とした新規免疫療法の検討）	主査　教　授　大橋　和彦 副査　教　授　鈴木　定彦 副査　准教授　高木　　哲 副査　准教授　今内　　覚

学位授与日	氏名	学位論文題目	審査委員
H30. 3.22	森脇　　潤	捕殺個体を利用したエゾヒグマ（Ursus arctos yeasoensis）の繁殖および栄養状態評価に関する研究	主査　教　授　坪田　敏男 副査　教　授　片桐　成二 副査　准教授　下鶴　倫人 副査　自然環境部長　間野　勉（北海道立総合研究機構　環境・地質研究本部　環境科学研究センター）
	石井　千尋	Evaluation of the lead exposure situation in wild birds and identification of novel avian renal biomarkers （国内に生息する鳥類における鉛汚染状況の解明と，鳥類種横断的に利用可能な新規腎障害マーカーの探索）	主査　教　授　石塚真由美 副査　教　授　坪田　敏男 副査　准教授　市居　　修 副査　准教授　池中　良徳
	和泉　雄介	イヌの血管内皮細胞および腫瘍移植マウスを用いた血管破壊剤 CA4P の腫瘍血管選択的遮断機序の解明	主査　教　授　滝口　満喜 副査　教　授　木村　享史 副査　准教授　今内　　覚 副査　准教授　高木　　哲
	菅野　智裕	Evaluation of bovine semen quality based on sperm organelle functions and motility subpopulation structures （精子の細胞小器官機能および運動様式を指標にした牛精液品質評価法の検討）	主査　教　授　片桐　成二 副査　教　授　坪田　敏男 副査　准教授　永野　昌志 副査　講　師　坂本健太郎
	酒井　友里	NADPH oxidase 4 が放射線によるストレス誘発性早期老化に伴う活性酸素種産生に与える影響およびその生理的役割に関する研究	主査　教　授　稲波　　修 副査　教　授　稲葉　　睦 副査　准教授　安井　博宣（アイソトープ総合センター） 副査　講　師　岡松　優子
	鈴木　瑞穂	Study on the pandemic influenza vaccines prepared from avian influenza viruses （鳥インフルエンザウイルスを用いたパンデミックインフルエンザワクチンの研究）	主査　教　授　迫田　義博 副査　教　授　大橋　和彦 副査　教　授　高田　礼人 副査　准教授　岡松　正敏
	スランジ ウィジェコーン	Pentosan polysulfate: an effective treatment for model of rheumatoid arthritis and a novel candidate for inhibition of cytokines-induced osteoclastogenesis （多硫酸ペントサン：関節リウマチの効果的な治療法およびサイトカイン誘導破骨細胞分化制御の新規薬剤としての検討）	主査　教　授　奥村　正裕 副査　教　授　昆　　泰寛 副査　准教授　細谷　謙次 副査　講　師　坂本健太郎
	タピワ ルンドゥ	Studies on the epidemiology of severe fever with thrombocytopenia syndrome virus infection and the role of glycoproteins in the intracellular transportation of viral structural proteins （重症熱性血小板減少症候群ウイルス感染の疫学およびウイルス構造タンパク質の細胞内輸送における糖蛋白質の役割に関する研究）	主査　教　授　苅和　宏明 副査　教　授　澤　　洋文 副査　教　授　迫田　義博 副査　准教授　好井健太朗
	平野　　港	Studies on the replication and pathogenic mechanisms of tick-borne encephalitis virus in neuron （ダニ媒介性脳炎ウイルスの神経細胞における複製および病原性発現機序の研究）	主査　教　授　苅和　宏明 副査　教　授　澤　　洋文 副査　准教授　好井健太朗 副査　講　師　長谷部理絵
	武藤　芽未	Studies on epidemiology and virus-host interaction in pathogenicity of Tick-borne encephalitis virus （ダニ媒介性脳炎ウイルスの疫学および病原性発現に関与する宿主因子の研究）	主査　教　授　苅和　宏明 副査　教　授　木村　享史 副査　准教授　今内　　覚 副査　准教授　好井健太朗
	森田　智也	Application of the assessment of right ventricular function by echocardiography in dogs with heart disease （犬心疾患への心エコー図法を用いた右心室機能評価の応用）	主査　教　授　滝口　満喜 副査　教　授　稲葉　　睦 副査　准教授　中村　健介（宮崎大学） 副査　講　師　大田　　寛

学位授与日	氏名	学位論文題目	審査委員
H30. 3.22	リサ アンジェラ トンプソン	Health risk assessment and molecular biological characteristics associated with organochlorine insecticides sprayed for control of pests and vector-borne diseases: One Health aspects （有機塩素系殺虫剤散布による病原性媒介生物および疾患のコントロールが及ぼす分子生物学的特徴と健康リスク評価に関する研究）	主査　教　授　石塚真由美 副査　教　授　坪田　敏男 副査　准教授　久保田　彰 （帯広畜産大学） 副査　准教授　池中　良徳
	和田　雄治	Discovery of a novel antiviral agent for chikungunya virus （新規抗チクングニアウイルス化合物の探索と解析）	主査　教　授　澤　　洋文 副査　教　授　迫田　義博 副査　准教授　好井健太朗 副査　講　師　大場　靖子
	ワンラヤー ポンペオウ	The valosin-containing protein is implicated in West Nile virus replication and an examination of the pathogenicity of novel WNV strain isolated in Zambia （ウエストナイルウイルスの複製に関与するバロシン含有タンパク質に関する研究とザンビアで単離されたウエストナイルウイルスの病原性の検索）	主査　教　授　澤　　洋文 副査　教　授　高田　礼人 副査　准教授　好井健太朗 副査　講　師　大場　靖子

②論文博士

学位授与日	氏名	学位論文題目	審査委員
H28. 9.26	金　　泰延	Studies on neuronal function using votage-gated Ca2＋channel Cav2.1α1 subunit mutant mice （Cav2.1 チャネルの神経機能における役割に関する研究― Cav2.1α1 遺伝子変異マウスを用いて―）	主査　教　授　木村　享史 副査　教　授　木村　和弘 副査　准教授　乙黒　兼一 副査　高橋　英機（理化学研究所）
H29. 3.23	瀬山　智博	Development of rumen escapable capsules for cattle （ウシ用ルーメンバイパスカプセルの開発）	主査　教　授　鈴木　定彦 副査　教　授　東　　秀明 副査　准教授　磯田　典和 副査　准教授　中島　千絵
H29. 6.30	フンファ ウトララキ	Genetic Diversity and Antimicrobial Resistance Determinants of Clinical *Salmonella* Enteritidis in Thailand （タイで患者から分離された *Salmonella* Enteritidis の遺伝学多様性と抗菌薬耐性決定因子）	主査　教　授　鈴木　定彦 副査　教　授　東　　秀明 副査　特任准教授　磯田　典和 副査　准教授　中島　千絵
	森下啓太郎	Application of contrast-enhanced ultrasonography of the hepatic vein for the differentiation of canine diffuse liver disease （犬のびまん性肝疾患の鑑別における肝静脈造影超音波検査の応用）	主査　教　授　滝口　満喜 副査　教　授　稲葉　　睦 副査　准教授　高木　　哲 副査　講　師　大田　　寛
H29. 9.25	田村　周久	ウマ浅指屈筋腱の損傷部に対する超音波エラストグラフィ検査の応用	主査　教　授　滝口　満喜 副査　教　授　昆　　泰寛 副査　教　授　奥村　正裕 副査　教　授　山﨑　真大 （岩手大学）
H30. 3.22	山本（伊藤） 美加	Studies on the genetic recombinations in the enteric RNA viruses detected from cattle and pigs in Japan （日本の牛及び豚から検出された腸内 RNA ウイルスにおける遺伝子組換えに関する研究）	主査　教　授　迫田　義博 副査　教　授　大橋　和彦 副査　教　授　苅和　宏明 副査　准教授　岡松　正敏
	アッバス ラグダ モハメド ファトヒ アハメド	Verification of genetic loci responsible for the resistance/susceptibility to the Sendai virus infection using congenic mice （コンジェニックマウスを用いたセンダイウイルス感染抵抗性／感受性遺伝子座の証明）	主査　教　授　安居院高志 副査　教　授　迫田　義博 副査　准教授　今内　　覚 副査　准教授　森松　正美

2. 学部

(1) 北海道大学・帯広畜産大学共同獣医学課程の教員構成

平成 29 年 5 月 1 日現在

職　名	北海道大学	帯広畜産大学	合　計
教授	17	24	41
准教授	15	11	26
講師	5	2	7
助教	20	13	33
合　計	57	50	107

(2) 学生数（定員含む）

①学年別学生数

平成 28 年 5 月 1 日現在

	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	5 年次	6 年次	合計
定員		40	40	40	40	40	−
学生数計	37	42	44	45	37	43	248
女性（内数）	15	18	20	15	16	15	99
外国人留学生（内数）	0	0	0	0	0	1	1

注）1 年次学生数は 2 年次に獣医学部進学が決定している総合教育部所属学生数を示す。

平成 29 年 5 月 1 日現在

	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	5 年次	6 年次	合計
定員		40	40	40	40	40	−
学生数計	37	41	43	49	38	41	249
女性（内数）	24	15	18	23	12	17	109
外国人留学生（内数）	0	0	0	0	0	0	0

注）1 年次学生数は 2 年次に獣医学部進学が決定している総合教育部所属学生数を示す。

②入学年度別学生数

平成 28 年 5 月 1 日現在

入学時期	入学者数	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	5 年次	6 年次	退学・除籍等
平成 28 年度入学	37 *	37 *						
平成 27 年度入学	42		42					
平成 26 年度入学	40			40				
平成 25 年度入学	43			4	39			
平成 24 年度入学	42				5	37		
平成 23 年度入学	39				1		38	
平成 22 年度以前入学	5						5	
合計	169	0	0	44	45	37	43	

＊1 年次学生数は 2 年次に獣医学部進学が決定している総合教育部所属学生数を示す。

平成 29 年 5 月 1 日現在

入学時期	入学者数	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	5 年次	6 年次	退学・除籍等
平成 29 年度入学	37 *	37 *						
平成 28 年度入学	41		41					
平成 27 年度入学	42			42				
平成 26 年度入学	40				40			
平成 25 年度入学	43			1	7	35		
平成 24 年度入学	41				1	3	37	
平成 23 年度以前入学	3				1		2	
合計	169	0	0	43	49	38	39	

＊1 年次学生数は 2 年次に獣医学部進学が決定している総合教育部所属学生数を示す。

(3) 入学者選抜の種類，志願者数，定員，入学者数

年度	入試区分	入学志願者数	定　員	学部別入試	総合入試
平成 28 年度	一般入試（前期）	95	20	22	
	一般入試（後期）	114	15	15	
	帰国子女入試	2	若干名（内数）	0	
	私費外国人入試	2	若干名（内数）	0	
	総合入試理系 [1)]	2,943	5		5（1,098）*
平成 29 年度	一般入試（前期）	91	20	22	
	一般入試（後期）	109	15	15	
	帰国子女入試	5	若干名（内数）	0	
	私費外国人入試	2	若干名（内数）	0	
	総合入試理系 [1)]	2,808	5		5（1,098）*

＊総合入試による入学者数のカッコ内数値は，総合入試（理系）合格者数（1 年次）を示す。

(4) 出身高校の所在地（総合入試の学生を含む）

都道府県	人数（2 年次進級時期）		都道府県	人数（2 年次進級時期）	
	平成 28 年 4 月	平成 29 年 4 月		平成 28 年 4 月	平成 29 年 4 月
北海道	3	3	大阪府	5	3
青森県	0	0	兵庫県	2	0
岩手県	0	0	奈良県	1	3
宮城県	0	1	和歌山県	1	0
秋田県	0	0	鳥取県	0	0
山形県	1	0	島根県	1	0
福島県	0	0	岡山県	0	0
茨城県	0	0	広島県	0	1
栃木県	0	0	山口県	0	0
群馬県	0	0	徳島県	0	0
埼玉県	2	1	香川県	0	0
千葉県	1	4	愛媛県	2	0
東京都	8	8	高知県	0	0
神奈川県	2	1	福岡県	1	1
新潟県	0	2	佐賀県	0	0
富山県	0	0	長崎県	0	0
石川県	1	0	熊本県	0	0
福井県	0	1	大分県	0	0
山梨県	0	1	宮崎県	1	0
長野県	0	2	鹿児島県	1	0
岐阜県	0	0	沖縄県	0	0
静岡県	1	2	その他	1	0
愛知県	5	1	合計	43	41
三重県	0	5			
滋賀県	0	1			
京都府	3	0			

(5) 学生の在籍期間の分布と平均

卒業までの在籍期間	人数	
	平成 28 年度	平成 29 年度
6 年	37	35
7 年	2	2
8 年以上	0	1
卒業者数合計	39	38
卒業までの平均年数	6.24	6.08
標準修業年限内卒業率	83.3%	92.1%

(6) 卒業に必要な単位数・進級要件

平成 29 年度入学者

科目区分	2 年進級	4 年進級	5 年進級	卒　業
一般教養教育科目	32	46	46	46
専門科目	−	79 *	120 *	154
獣医学コアカリキュラム（必修）	−	79 *	120 *	144
アドバンスト科目（必修）	−	−	−	6
選択科目（アドバンスト科目（選択）を含む）	−	−	−	4
合　計	32	125	166	200

＊短期現地実習を除く

(7) 教室配属学生数（当該年度に 5 年次進級した学生数）

教室名	人数	
	平成 28 年度	平成 29 年度
解剖学	1	2
生理学	2	0
生化学	3	2
薬理学	2	2
放射線学	0	1
実験動物学	0	1
毒性学	3	3
野生動物学	0	2
獣医内科学	2	3
獣医外科学	2	1
比較病理学	3	1
繁殖学	2	3
動物分子医学	3	2
先端獣医療学	1	2
微生物学	3	2
感染症学	3	3
寄生虫学	2	3
公衆衛生学	3	2
獣医衛生学	2	2
合計	37	37

(8) 獣医学部に進学した総合入試（理系）による入学者の GPA

年度	最低～最高 GPA	理系総合入試学生の 平均 GPA	進学可能な理系 総合入試学生数
平成 28 年度	3.88～4.15	3.26	1,068
平成 29 年度	3.94～4.12	3.22	1,069

(9) H27 年度 2 年次進級の獣医学部生（H26 年度に学部別入試で入学した者）の全学教育の GPA 平均値

年度	学期	全学教育科目の GPA 平均値		備考
		獣医学部平均	全学部平均	
平成 28 年度	1 学期	3.19	3.14	H28 年度 2 年次進級者（H27 年度に学部別入試で入学した者）の値
	2 学期	3.01	3.10	
平成 29 年度	1 学期	3.22	3.13	H29 年度 2 年次進級者（H28 年度に学部別入試で入学した者）の値
	2 学期	3.12	3.10	

(10) 獣医学部生（1 年次）の全学教育の GPA 平均値と TOEFL-ITP の平均値

年度	TOEFL-ITP の平均値	
	獣医学部平均	全学部平均
平成 28 年度	530.46	488.16
平成 29 年度	516.46	486.07

(11) 卒業論文研究内容の原著論文としての公表状況

平成 29 年度卒業者

年度	卒業者数	公表原著論文数 （%：卒業生に対する割合）		
		英語	邦文	合計
平成 28 年度	39	17	0	17（43.6%）
平成 29 年度	38	13	1	14（36.8%）

(12) 授業料免除適用者数（学部 2～6 年次）

年度	区分	申請者数	全額免除	半額免除	1/4 免除	不許可
平成 28 年度	前期	32	13	7	8	4
	後期	34	13	8	8	5
平成 29 年度	前期	22	11	5	5	1
	後期	24	10	7	4	3

(13) 奨学金貸与・受給状況

①日本学生支援機構

年度	貸与区分	2 年次	3 年次	4 年次	5 年次	6 年次
平成 28 年度	一種	3	8	8	5	4
	二種	3	4	5	11	7
平成 29 年度	一種	4	3	8	8	5
	二種	6	3	4	4	12

※ 2～5 年次は当該年度の適格認定対象者，6 年次は当該年度 3 月満期者（貸与奨学金返還確認名簿）に記載の学生を計上
※併用貸与者を含む

②民間等奨学金

年度	財団名	給与・貸与の別	金額（円）
平成 28 年度	竹中育英会	給与	80,000
	春秋育英会	給・貸	25,000
	井上育英会	貸与	30,000
	富山県奨学生	貸与	51,000
	茨城県奨学生	貸与	40,000
	井上育英会	貸与	30,000
	日本証券奨学財団	給与	45,000
平成 29 年度	春秋育英会	給・貸	25,000
	井上育英会	貸与	30,000
	茨城県奨学生	貸与	40,000
	富山県奨学生	貸与	51,000
	井上育英会	貸与	30,000
	日本証券奨学財団	給与	45,000

(14) 就職説明会実施状況

年度	開催日	説明会名称，実施団体名	参加学生数	備考
平成 28 年度	H28. 4.15	住友化学株式会社	5	
	H28. 5.11	獣医学部地方自治体等合同就職説明会	54	農水省，都道府県等を対象とし，毎年実施
	H28. 5.12	長崎県畜産課	1	
	H28. 5.19	北海道ひがし農業共済組合	3	
	H28. 6. 7	アニマルメディカルセンター	5	
	H28. 6. 8	ひかりどうぶつ病院	4	
	H28. 6.28	エルザ動物病院	5	
	H28. 7. 4	ダクタリ動物病院　京都医療センター	3	
	H28.11. 8	淀川中央動物病院	1	
	H29. 3. 9	JT	7	
平成 29 年度	H29. 4. 7	住友化学	0	
	H29. 5.18	獣医学部地方自治体等合同就職説明会	54	農水省，都道府県等を対象とし，毎年実施
	H29. 5.29	ダグタリ動物病院	8	
	H29. 5.30	ワールド動物病院	2	
	H29. 6. 9	アニマルメディカルセンターあいち犬猫医療センター	2	
	H29. 6.12	エルザ動物病院 日本動物医療センター 王禅寺ペットクリニック 夕やけの丘動物病院	14	動物病院合同就職説明会
	H29. 7.10	もりやま犬と猫の病院	4	
	H29. 7.13	ダイゴペットクリニック	1	
	H29. 7.14	加古川動物病院	1	
	H29. 7.24	埼玉動物医療センター	2	
	H29. 7.25	ひかり動物病院	1	
	H30. 3.29	ひかり動物病院	1	

(15) 卒業者数・卒業者の進路状況

①獣医学部卒業者の就職率

	平成 28 年度	平成 29 年度
卒業者数	39 人	38 人
就職希望者数	25 人	31 人
就職者数	25 人	30 人
就職率	100%	97%

②獣医学部卒業者の就職先等

平成 28 年度

就職先等	人数	具体的な進路
国家公務員	0	
地方公務員	3	福岡県，兵庫県，石川県
企業・団体・研究機関	12	トータルハードマネジメントサービス，第一三共株式会社，株式会社ヤクルト本社，富士フイルム，株式会社 Speee，共立製薬株式会社，日本全薬工業株式会社，ゴールドマンサックス証券株式会社，JA 西日本くみあい飼料株式会社，鹿児島大学研究支援，霊長類医学研究センター
大動物臨床	2	兵庫県農業共済組合連合会，北海道ひがし農業共済組合
小動物臨床	8	北海道（1），東京都（1），神奈川県（1），愛知県（1），三重県（1），大阪府（1），奈良県（1），福岡県（1）
進学	10	北海道大学，東京大学，大阪大学
その他	4	JICA 青年海外協力隊（1），北海道大学獣医学研究院研究生（1），北海道大学附属動物医療センター研修医（1），未定（1）

平成 29 年度

就職先等	人数	具体的な進路
国家公務員	1	農林水産省
地方公務員	2	京都市，北海道
企業・団体・研究機関	16	国立開発法人農研機構動物衛生研究部門，日生研株式会社，一般社団法人ジェネティクス北海道，株式会社中外製薬，JA 全農家畜衛生研究所，味の素株式会社，ユニ・チャーム株式会社，共立製薬株式会社，日本たばこ産業株式会社，アマミベッツメディカ株式会社，独立行政法人家畜改良センター，旭化成ファーマ株式会社，日本曹達株式会社
大動物臨床	2	兵庫県農業共済組合連合会
小動物臨床	9	北海道（1），埼玉県（2），東京都（1），大阪府（2），広島県（1），兵庫県（1），京都府（1）
進学	5	北海道大学，岐阜大学
その他	3	就職活動中（公務員志望）（1），未定（2）

(16) 国家試験合格率（新卒者）

卒業時期	北海道大学			全国平均		
	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
平成 28 年度（H29.3）	38	33	86.8%	1,028	899	87.5%
平成 29 年度（H30.3）	38	37	97.4%	966	936	96.9%

3. FD 開催状況

年度	回目	開催日	趣旨・タイトル	講演者・講師	人数
平成28年度	1	平成28年5月17日(火) 17：00～18：00	学内外のエンドユーザーのサイバーセキュリティ	情報基盤センター教授	21
	2	平成28年6月17日(金) 16：30～18：15	動物実験に関するFD講習会	実験動物中央研究所研究者 獣医学研究科教授	30
	3	平成28年7月20日(水) 17：00～18：00	国際認証にかかわるFD講習会	獣医学研究科教授	48
	4	平成28年10月26日(水)	研究者倫理に関するFD講習会	文学研究科准教授 北海道大学病院特任講師	22
	5	平成28年12月12日(月)	国際交流委員会活動報告	獣医学研究科教授 タイ派遣学生7名	27
	6	平成29年2月6日(月)	新学院・新研究院の設置について	獣医学研究科教授	57
	7	平成29年2月17日(金)	ハラスメントに関するFD講習会	ハラスメント相談室	26
平成29年度	1	2017年6月22日(木)	EAEVE認証に関するFD/SD講演会	稲葉　睦（北海道大学・獣医学研究院） 苅和　宏明（北海道大学・獣医学研究院）	80
	2	2017年7月19日(水)	高等教育における障害のある学生の修学支援	伊藤　康弘（北海道大学・高等教育推進機構）	30
	3	2017年8月21日(月)	獣医学院における動物実験のルールと実施状況，動物実験の社会的動向	安居院高志（北海道大学・獣医学研究院） 苅和　宏明（北海道大学・獣医学研究院） 森松　正美（北海道大学・獣医学研究院） 鍵山　直子（実験動物中央研究所）	37
	4	2017年11月13日(月)	教職員合同の英語FD講演会	Michael Henshaw （北海道大学・獣医学研究院）	38
	5	2017年12月1日(金)	1. Glexaの有効活用の推進に向けて 2. 共通機器の共有化について	1. 森松　正美（北海道大学・獣医学研究院） 2. 昆　泰寛（北海道大学・獣医学研究院）	1.25 2.19
	6	2018年2月9日(金)	獣医学研究院の国際交流活動に関するFD講演会	堀内　基広（北海道大学・獣医学研究院） 坪田　敏男（北海道大学・獣医学研究院） 片桐　成二（北海道大学・獣医学研究院）	30
	7	2018年3月15日(木)	共同獣医学課程カリキュラム改訂の進捗状況と国際認証取得へ向けての取り組み	昆　泰寛（北海道大学・獣医学研究院） 苅和　宏明（北海道大学・獣医学研究院）	40

帯広畜産大学との共同FD実施状況

年度	日時開催場所	テーマ	人数
平成28年度	平成29年3月6日(月)～7日(火) 新得町「湯宿くったり温泉　レイクイン」	カリキュラム改定について，国際認証，共用試験，参加型臨床実習について	教員43名 事務3名
平成29年度	2018年3月18日(日)～19日(月) 小樽朝里クラッセホテル	国際認証，CV指摘事項への対応 カリキュラムの見直し CBT/OSCE（実施時期等について） 共同獣医学課程6年間の振り返り 共同獣医学課程の将来像	教員37名 事務3名